

塗装仕様例

(コーティング工法) 工法記号ESS-I

工 程	製 品 名	希釈量(重量%) (合成シンナーNo6)	塗布量 (kg/m ²)	施 工 方 法	塗 装 間 隔 23℃(時間)
1 下地処理	—	—	—	・コンクリート打設後、4週間以上経過していることを確認し、含水率を必ずチェックします。 ・下地目視のサANDING処理は必ず行い、異物に付着しているレタックス、こみ、油なども除去します。	—
2 下塗り	#800プライマー	—	0.2	・主剤と硬化剤を1:1(重量比)で攪拌混合し、ローラーで塗布します。	2~24
3 中塗り	#8500	10	0.2	・主剤と硬化剤を3:1(重量比)で攪拌混合し、ローラーで塗布します。	16~48
4 上塗り	#8500	10	0.15~0.2	・中塗りと同様。	—

(コーティング防滑工法) 工法記号ESN-I

工 程	製 品 名	希釈量(重量%) (合成シンナーNo6)	塗布量 (kg/m ²)	施 工 方 法	塗 装 間 隔 23℃(時間)
1 下地処理	—	—	—	・コーティング工法 工程(1)と同様。	—
2 下塗り	#800プライマー	—	0.2	・コーティング工法 工程(2)と同様。	2~24
3 中塗り	#8500	10	0.2	・コーティング工法 工程(3)と同様。	直後
3 骨材散布	珪砂6号	—	0.15~0.3	・中塗り後直ちに珪砂を散布し、乾燥後余分な砂を回収します。	16~48
4 上塗り-1	#8500	10	0.3	・コーティング工法 工程(4)と同様。	16~48
5 上塗り-2	#8500	10	0.2	・コーティング工法 工程(4)と同様。	—

(注) ※塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。

可使時間と硬化時間

気 温	10℃	20℃	30℃
可 使 時 間	5時間	4時間	2時間
硬 化 時 間	48時間	24時間	12時間

・冬期には#8500速乾もございます。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を遅けてください。
- (2) 降雨・降雪・高温・高温時及びその恐れがある場合には、塗装を遅けてください。
- (3) 下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様例等を良くお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様お願いします。
- (3) 塗装中は、換気を良くし、火気の取扱いは厳禁してください。
- (4) 二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかり及び電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (5) 塗装を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にした後にかりを用いて計量、混合してください。
- (6) 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (7) 静電気対策のため、使用する装置などは接地し、電気機器類は防静電型(安全増型)を使用してください。
- (8) 取扱いは時に皮膚・粘膜・目などに入らぬように、適切な保護具を着用ください。
- (9) #8500は#8500速乾と混合しないでください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度が高い時、気温の低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 塗装具の洗浄には合成シンナーNo6をご使用ください。
- (3) 養生時間 歩行開放=24時間以上 重量物開放=48時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を遅けてください。塗装前に素地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、素地面が黒くなった、ポリシート内部に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
(ケット水分計 HI-520 で測定した場合の水分量が D モードで 700 以下、チャンネル 4 で 5% 以下を目安にする)
- (2) 強化コンクリート面・油の付着している強化コンクリート面に塗装する場合、下地処理の方法や下塗剤の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- (3) 吸い込みの激しいコンクリート面は、アトムプライマー#800TY を下塗りしてください。
- (4) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります)

5. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項及び MSDS(製品安全データシート)をよくお読みください。
- (2) 改良等の為、①製品の midst、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の層の諸条件によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体及び当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

プライマーの有効な使い方

1. 素地状態から見たプライマーの選び方

素地の状態	最適なプライマー	内容量(比率)	塗布量 (kg/m ²)	塗り面積 (m ²)	乾燥時間 23℃(時間)	可使時間 23℃(時間)	用毛洗
普通コンクリート	#800プライマー	16kgセット 主剤:硬化剤 1:1	0.15~0.2	80~100 30~40	2~3	5	合成シンナーNo.6 又はラッカーシンナー
	#800TYプライマー	12kgセット 主剤:硬化剤 1:1	0.15~0.2	60~80	2~3	5	合成シンナーNo.6 又はラッカーシンナー
	アトム水性エポプライマー	16.2kgセット 主剤:硬化剤:骨材 6:6:3.2	0.15~0.2	70~100	3~4	2	水
	エコワイドプライマー	12kgセット 主剤:硬化剤 9:3	0.15~0.2	60~80	3~8	5	合成シンナーNo.6
	プライマーU	16kg 5kg	0.15~0.2	80~100 25~30	1~2	—	合成シンナーNo.2
油で汚れたコンクリート	#500油面プライマー	20kgセット A材 10kg B材 10kg	0.4	50	(※1)	3 (※2)	合成シンナーNo.2
強化コンクリート(※3)	強化コンクリート用 プライマー	10.5kgセット 主剤:硬化剤:添加剤 6:3:1.5	0.1	105	3~4	2	合成シンナーNo.6
Pタイルの縫のあと	セブンプライマー	16kgセット 主剤:硬化剤:骨材 4:6:6	0.4	40	12	1	水洗い後 合成シンナーNo.6 又はラッカーシンナー
既設アスコンへの #1100、#1000の塗装	ASプライマー	14kg	0.1	140	1~2	—	合成シンナーNo.2
新設時の水分の高い コンクリート	ウェットオンプライマー	15kgセット 主剤:硬化剤 5:1	0.1~0.15	100~150	2~3	4	合成シンナーNo.8
水に濡れたコンクリート	ウェットガードプライマー	18kgセット 主剤:硬化剤:骨材 6:3:9(※4)	1.6	11	3	20分	合成シンナーNo.6
無機タイル、自然石 (ツルツルの表面)	タイル用プライマー	6kgセット 主剤:硬化剤 3:3	0.06~0.1	60~100	0.5~1	8	合成シンナーNo.6
U-#90・U-100NEOの 塗り替え	プライマーU	16kg 5kg	0.1 (※5)	160 50	2~3	—	合成シンナーNo.2

(※1) 上塗り可 1液型塗料の場合: 3時間以上5時間以内
 上塗り可 2液型塗料の場合: 3時間以上24時間以内
 (※2) 日材が沈澱しないようにローラーで押しながら塗布してください。
 (※3) フックや油が付着している場合、十分な効果を発揮できません。
 (※4) 骨材は別売となります。
 (※5) U-#90・U-100NEOの場合は合成シンナーNo.2で100%希釈してください。

2. プライマー別上塗り塗料の適否

上塗り	#800	#800TY	#500油面	U	セブン	ウェットガード	ウェットオン	強化 コンクリート用	タイル用	水性エポ	エコワイド
#1000・#1100	○	×	○※	×	○	—	×	○	○	○	○
#1400	○	○	○※	×	○	—	×	○	○	△	○
#5000・#5200・#5400	○	○	△	○	△	—	○	○	○	—	○
#6000	○	×	○	×	△	—	○	○	×	—	○
#7000	○	○	○	○	△	○	△	○	○	—	○
#7000+マークレス	○	×	○	○	△	○	×	○	○	—	○
#8000	○	○	○※	×	○	○	○	○	○	○	○
#8500	○	○	○※	×	△	○	○	○	○	—	○
#8500速乾	○	×	○	○	△	○	×	○	×	—	○
U-#90・U-100NEO	×	×	○	○	○	○	×	○	○	△	○
タフモル	○	○	○※	×	○	—	○	○	○	—	○
マークレス	×	×	○	○	×	—	×	○	○	—	○
水性アトムエポクリン	○	○	○※	×	○	○	○	○	×	○	○
エポワン	○	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
クイックアンダー	○	○	○※	×	○	○	○	○	○	—	○
アクアクリンU	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

- : 上塗り可 △: 条件により上塗り可 ×: 不可 —: 仕様なし ※: A材のみ使用の場合は付着しません。
 ・上塗り塗料の適定はご使用条件にあわせてお選びください。
 ・#500油面プライマー及びセブンプライマーの上塗りに薄膜型を塗装する場合は、仕上がりにガラスキが出来ます。
 ・ウェットオンプライマーに関しては当社までお問い合わせください。ウェットガードプライマーは建設粉砕のニート工法に限りません。
■ 重要な注意
 (1) 製品ご使用の際は、当製品物、製品本体記載の注意事項及びMSDS(製品安全データシート)をよくお読みください。
 (2) 改修などのため、(1) 製品の中心・仕様 (2) 販売物の内容などは将来予告なしに変更する場合があります。
 (3) 性能表示に示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗料の厚の塗布条件によって増減する場合があります。
 (4) 製品本体及び当製品物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法などにつきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

フロアトップ相互付着表

上塗り 既存塗膜	#1000	#1400	#1500	#5000 #5200 #5400	#8000	#7000	#8000	#8500	#8500 速乾	U-#90 U-100 NEO	#7000 マーク レス	エポ クリン U	アクア クリン U	エポワン	#9000	クイック アンダー
フロアトップ #1000	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
フロアトップ #1400	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
フロアトップ #1500	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
フロアトップ #5000・#5200・ #5400	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
フロアトップ #6000	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
フロアトップ #7000	●	●	●	□	×	○	●	●	○	□	○	●	●	○	×	●
フロアトップ #8000	△	△	△	△	△	☆	△	○	△	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ #8500	△	△	△	△	△	☆	△	○	○	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ #8500速乾	△	△	△	△	△	○	△	○	○	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ U-#90	×	×	×	×	×	×	×	×	×	□	□	×	×	×	×	×
フロアトップ U-100NEO	×	×	×	×	×	□	×	×	×	□	□	×	○	×	×	×
水性アトム エポクリン	○	○	○	△	○	○	△	○	○	□	○	○	○	○	×	○
アクアクリンU	○	○	○	△	△	○	○	○	○	□	○	○	○	○	×	○
エポワン	△	△	△	△	△	☆	△	○	○	□	□	○	○	○	●	△
フロアトップ #9000	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	■	×

※このデータは、既存塗膜が1ヶ月以上経過した場合のコンクリート上における各種上塗り塗料との層間付着性です。
 アスファルト上における#1000の塗り替えには、#1000を、又#8000の塗り替えには#8000を使用してください。
 この相互付着表は既存塗膜が素地と密着していることを条件としています。

- サンディング後、直接上塗り可能
 △ サンディング後、#800プライマーの塗装により上塗り可能
 □ サンディング後、プライマーUの塗装により上塗り可能
 ☆ サンディング後、プライマーUもしくは#800プライマーの塗装により上塗り可能
 × 付着せず、または仕様なし
 ● サンディング後、#500油面プライマーの塗装により上塗り可能
 ■ サンディング後、#900プライマーの塗装により上塗り可能

- ※1 塗布時にチヂミの発生する可能性があります。
 ※2 次回の塗り替え時に溶剤型塗料を塗装するとチヂミの発生する可能性があります。
 ※3 仕上がりに#500油面プライマーの骨材の影響(ガラスキ)が出来ます。
 ※4 既存塗膜の下にある塗膜が1液タイプの場合にはチヂミの発生する場合があります。
 ※5 クラックが発生する可能性があります。

(注) #7000に#800プライマーは付着しません。